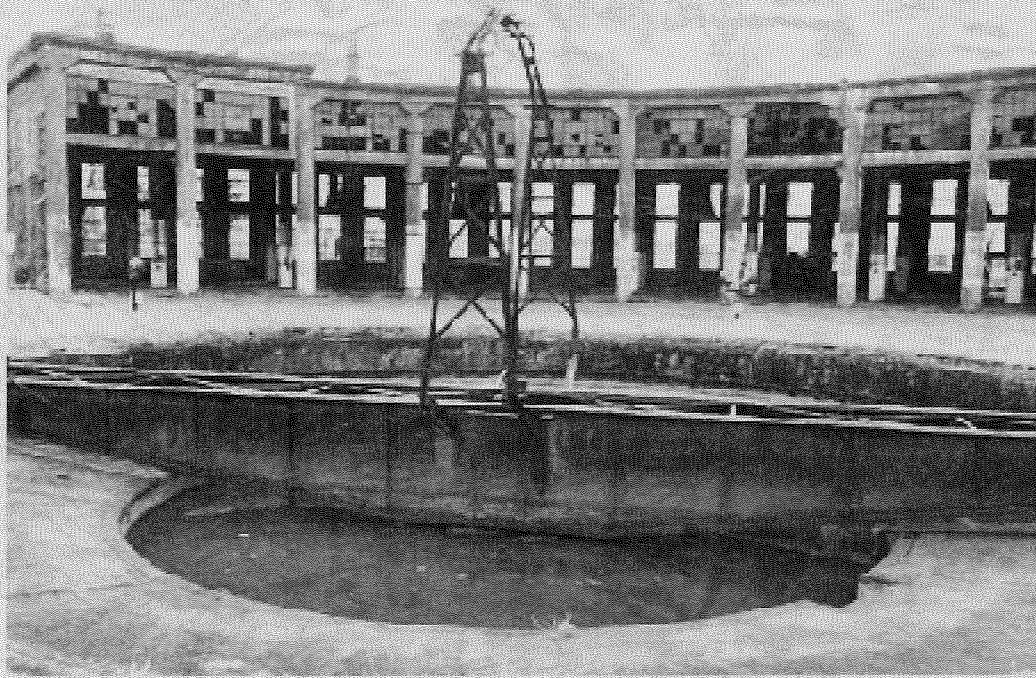


第41集

中学校長会研究集録



豊後森機関庫

大分県中学校長会

第41集 中学校長会研究集録の編集に当たって

平成24年度～平成26年度の3期にわたり、大分県中学校長会研究部長をさせていただきました。この3年間の中で特に心に熱く残っていることは、もちろん平成25年度に開催されました8年に一度の九州中学校長会研究会大分大会であります。平成24年度より準備委員会を立ち上げ、平成25年度は実行委員会と名称を替え、大分市中学校長会27名が中心となりながら、県下125名の中学校長会の力を結集し大きな成果を残し、大成功の内に終了したことであり、私自身この上ない喜びでもあります。

特に、大分大会で素晴らしい発表をされました、日田市立三隈中学校 小野 充之校長の「咸宜園教育の理念を生かした特色ある教育課程の編成」として、江戸時代後期に活躍した広瀬淡窓による咸宜園教育の理念「万善簿」「三奪法」「月旦表」「桂林壯雜詠示諸生(休道の詩)」を根底に置いた学校経営が力強く行われ、生徒一人一人が目標に向かって生き生きと学校生活を送っている姿に、参加された校長全員が拍手をおくり会場を響かせました。本当にご苦労様でした。

さて、平成26年度は、これまでと同様に各郡市研究部長16名を4班に分け、5回の研究部長会の中で研究を進めて参りました。「研究テーマ」については、平成27年度全日中校長協議会福岡大会が九州大会と兼ねて行われる、第1分科会で発表の杵築市のテーマ及び本年度九州大会沖縄大会での発表テーマとリンクさせ、発表郡市の研究が円滑にさらに充実したものとなるよう、各班で選択しました。臨時で研究部長会を開催した班やメール等で情報交換を行いながら研究を進めてきた班等、多忙な時間をお互いに調整しながら誠意と熱意を持ってまとめの作業を行うことで、本研究集録の完成に繋がっています。

また、各郡市部長会の研究についても掲載されていますので、他郡市のこれまでの研究内容や成果について、必読され自校の学校経営の参考にしていただけるものと期待しております。

ところで、今年度の平成26年6月27日(金)に開催されました大分県中学校長会玖珠大会は、6名という非常に少ない人数で、日田市校長会の支援をいただきながら、このえ緑陽中の濱田 淳 実行委員長を中心に北山田中学校の田坂 義巳 事務局長の細かい配慮によって「玖珠町メルサンホール」を会場として開催されました。前年度開催されました大分大会の影響で取組が遅れたにも関わらず、見事な役割分担、連携、手際の良さが光り、円滑に運営が行われました。全体会講演のロバート ワトソン 氏による「国際化社会に対応する人材育成に向けて！」では、会場を和ませ、笑いと納得の1時間30分でした。さらに、各分科会では、校長としての熱い思いが語られる非常に盛り上がりのある充実した研究会となりました。玖珠郡校長会、日田市校長会の皆様の労苦に心から感謝を申し上げます。

来年度、平成27年10月29日(木)・30日(金)に開催される第66回全日本中学校長会研究協議会福岡大会より研究協議会主題が「社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育」となります。また、新たなスタートが切られるような新鮮な気持ちがあります。そして、平成27年度は、大分県中学校長会豊後高田大会が平成27年6月26日(金)「豊後高田市中央公民館」を会場として開催される運びとなっています。昨年度に引き続き豊後高田市校長会も非常に人数の少ない中ではあるが、着々と準備を進めていただいているところであります。

現行学習指導要領の実施も、今年度で3年目に入り各学校では、生徒の「生きる力」の育成を図っているところです。さらに拍車を掛けるがごとく、次の学習指導要領の改正に向け動き出しています。非常に難しい時代の中で、学校教育が担わなければ成らないことは多い。学校力・校長のリーダーシップ・教師力が問われる時代でもあります。来年度も県中学校長会が一丸となってこの難題山積の時代と向き合いながら、さらに高みを目指して研究、実践に努めていかなければならないと考えています。

最後になりましたが、これまでの大分県中学校長会研究部長会の皆さまの誠意ある取り組みに感謝と敬意を表したいと思います。

また、一年間の各郡市での研究実践、県研究部長会での真摯的な研究の取り組みにより完成しました本研究集録を学校保管とし、学校経営に十分活用されることをご期待申し上げます。部長としての編集のまとめといたします。ご協力、誠にありがとうございました。

大分県中学校長会 研究部長 田 島 正 博
(大分市立原川中学校長)

目 次

第1部 郡市部長会 研究のまとめ

1. 中津市	1
学校組織の再構築と定着を通じた学校活性化の取組	
代表執筆者 中津市立山国中学校長	木戸伸一
2. 豊後高田市	6
小規模校の良さを生かした「生きる力」を育む学校経営	
代表執筆者 豊後高田市立河内中学校長	河野史武
3. 宇佐市	10
ふるさとに誇りをもち、夢に向かって挑戦する心豊かな生徒の育成をめざした学校経営	
～国東半島や宇佐地域世界農業遺産に係る伝統・食の学習を通して～	
代表執筆者 宇佐市立宇佐中学校長	吉村高三
4. 別府市	15
「正しい学園づくり」に向かって	
～師弟同行指針「時を守り、場を清め、礼を正す」を学校経営基盤として～	
代表執筆者 別府市立山の手中学校長	平野俊彦
5. 杵築市	18
創意工夫を生かした特色ある教育課程の編成	
～知・徳・体の調和のとれた特色ある教育課程の編成・実施～	
代表執筆者 杵築市立宗近中学校長	永井秀樹
6. 速見郡	22
学校・地域の特性に応じた特色ある学校づくりの推進	
代表執筆者 日出町立大神中学校長	清家健志
7. くにさき地区	26
「学力向上」協働達成を中心に据えた学校経営	
代表執筆者 東国東郡姫島村立姫島中学校長	上原加代子
8. 大分市	31
未来を切り拓く豊かな人間性と創造性を備え社会において自立的に生きる日本人を育てる中学校教育	
～今日的課題を通して～	
代表執筆者 大分市立戸次中学校長	小野精一
9. 臼杵市	35
これからの学校経営とリーダーシップのあり方	
～学力向上対策を通して～	
代表執筆者 臼杵市立東中学校長	進来ふさの
10. 津久見市	40
切磋琢磨しあう生徒の育成	
～絆強き学習集団づくりをめざして～	
代表執筆者 津久見市立第二中学校長	中津留則之
11. 由布市	44
人権意識に根差し行動力やコミュニケーション力のある生徒の育成	
～お互いの事を思いやることのできる話し合い活動を通して～	
代表執筆者 由布市立湯布院中学校長	和田壮一
12. 佐伯市	49
小・中連携の推進による学校教育の充実	
代表執筆者 佐伯市立蒲江翔南中学校長	染矢博史
13. 竹田市	53
学校重点目標達成に向けた取り組み	
～「確かな学力の定着、健康増進・体力の向上、安心安全・心の育成」をめざして～	
代表執筆者 竹田市立久住中学校長	添田俊雄

14. 豊後大野市	57
連携型小・中一貫教育の取組	
代表執筆者 豊後大野市立犬飼中学校長	深田幹男
15. 日田市	61
ふるさとに誇りをもち、進んで関わり 進んで学ぶ子どもを育む「小中一貫教育」を求めて	
～小中教職員の協働指導体制づくりを通して～	
代表執筆者 日田市立津江中学校長	平嶋聡
16. 玖珠郡	66
学校の課題解決を図るための家庭・地域との協働	
～コミュニティ・スクールの実践～	
代表執筆者 玖珠郡玖珠町立八幡中学校長	熊谷豊廣

第2部 研究部長会 研究のまとめ

1. 第1班	70
テーマ：創意工夫を生かした特色ある教育課程の編成	
～知徳体の調和の取れた特色ある教育課程の編成・実施～	
班長 永井秀樹（杵築市）	
班員 平野俊彦（別府市）	清家健志（速見郡）
	上原加代子（くにさき地区）
2. 第2班	73
テーマ：豊かな学校生活を築き、自らの生き方を育む指導の充実	
～勤労観・職業観を身に付け自立を促すキャリア教育の推進～	
班長 合屋貴宏（佐伯市）	
班員 川津一芳（日田市）	宗岡功（玖珠郡）
	添田俊雄（竹田市）
3. 第3班	78
テーマ：時代の要請に応える学校経営の充実	
～特別支援教育の推進体制の整備～	
班長 古口宣久（中津市）	
班員 河野史武（豊後高田市）	吉村高三（宇佐市）
	深田幹男（豊後大野市）
4. 第4班	81
テーマ：知・徳・体の調和のとれた特色ある教育課程の編成・実施	
班長 和田壮一（由布市）	
班員 小野精一（大分市）	中津留則之（津久見市）
	進来ふさの（臼杵市）

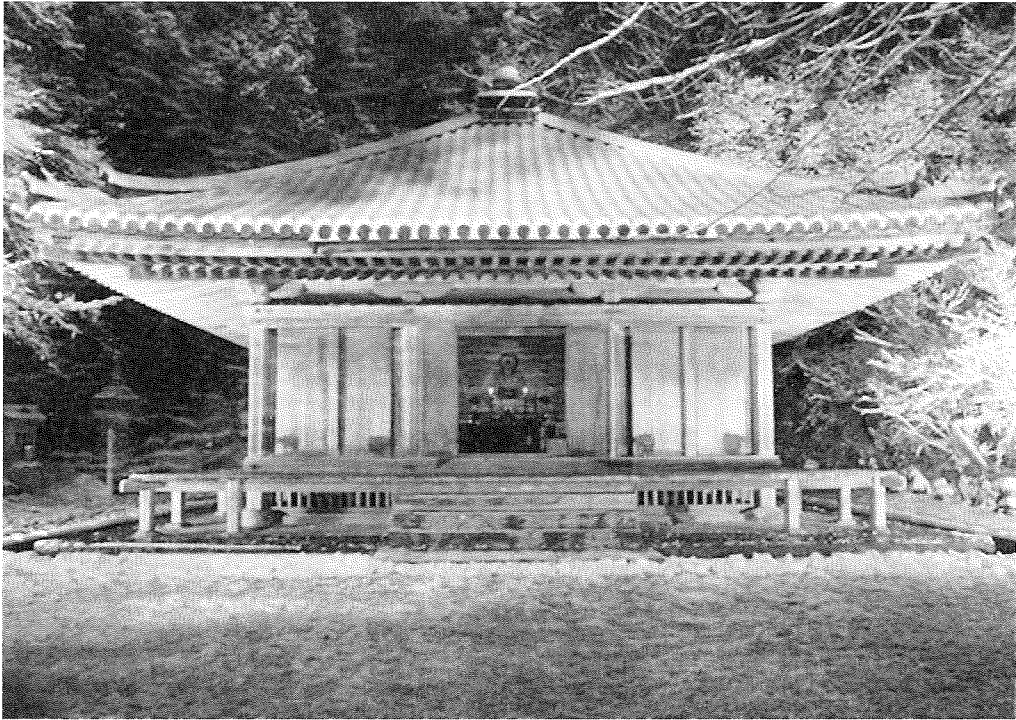
第3部 第60回大分県中学校長研究大会玖珠大会のまとめ

平成27年度 研究大会の案内

第61回大分県中学校長研究大会 豊後高田大会	92
第66回全日本中学校長会研究協議会 福岡大会	94

第42集

中学校長会研究集録



富貴寺

大分県中学校長会

27年度研究のあゆみと第42集大分県中学校長会研究集録の 編集にあたって

新年の新聞記事に「・急速な技術革新やグローバル化の激流の中で、名門企業ですら一気に転落する様子が伝えられた。経営再建中のシャープや、不正会計に揺れ、昨年12月に約一万人のリストラ策を発表した東芝、いずれも近年まで就職先として人気の高い企業であったが、あっけなく苦境に追い込まれた。(朝日新聞 18歳を歩く)」とありました。科学技術の急速な進歩に伴い、国際化や高度情報化の進展と共に社会の変化がいつそう進行している事を改めて感じた瞬間でした。

これまで本県中学校長会は、全日中・全九中研究協議会主題に沿って研究を進めてきました。特に平成25年度全九州中学校長研究大会大分大会では大会主題「未来を切り拓く豊かな人間性と創造性を備え社会において自立的に生きる日本人を育てる中学校教育」のもと、変化の著しい社会で自立的に生きるために必要な力を育む校長としての学校経営での役割、責任、指導性について協議を深め大きな成果を上げる事ができました。

今年度、全日中研究協議会主題が「社会を生き抜く力を身につけ、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育」に変更される事を受け本県も同研究主題を掲げ、これまでの研究成果を踏まえ、県下各地の中学校長の英知と創意を結集し、学校経営の一層の充実と自らの資質向上とともに、今日的課題の解決に向けた研究活動の推進に努めることと致しました。

第1回県研究部長会では、各郡市研究部長が4班に分かれ取り組む班別研究を中心とする研究体制を整え、年間5回(班別開催1回)の活動を通じ研究を深めました。各班の研究テーマは全九中分科会テーマの中から、今後の各郡市提案内容を見据え各班で検討・選択しました。研究部長会では、九州大会のレポート検討、文科省行政説明還流等や各郡市の特色ある学力向上対策や諸課題等の情報交換も行われました。本集録には、各郡市の研究の成果についても記載させていただきましたので、今後の学校経営の参考にしていただけるものと期待しております。

また、昨年6月26日には学校現場において日々の実践に取り組む中、県下の校長が一堂に介する大分県中学校長研究大会が、高田中学校の早田義司郎大会実行委員長を中心に、第一回日本「住みたい田舎」ベストランキング一位の豊後高田市で開催されました。河野潔教育長の講演「教師はもっと尊敬されてもいいのです」を皮切りに各分科会では、学校実態から課題を洗い出し、今求められているミドルリーダーを中心とした芯の通った学校組織構築のための具体的な提案と熱心な討議がなされ、各校での実践の深化、発展に結びつく大会となりました。改めて県中学校長会の4つの運営方針を体現する重要な大会であったと感じております。豊後高田市校長会をはじめご協力いただきました宇佐市、中津市の校長先生方には多大なご尽力を賜り、周到に準備された見事な大会運営で実りの大きい大会となりましたことに深く感謝いたします。

来年度は、大分県中学校長研究大会別府大会が平成28年6月24日(金)大分県社会教育総合センター他を会場として開催される運びとなっています。新たな教育改革の取組等が次々と打ち出され、これまでにない重要な局面を迎えている今こそ「豊かな教育を豊の国大分から」を合言葉に、来年度も県中学校長会が一丸となって難題山積の教育課題に向き合い、課題解決に向け強いリーダーシップを発揮する中学校教育の先陣として一歩前進の気持ちを、これからも大切にして研究・実践に努めなければならないと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

最後になりましたが、今年度の研究推進にあたり、関係教育委員会の皆様をはじめ、県下各中学校長、研究部長の校長先生方の誠意あるご協力に感謝と敬意を表します。また、県大会や研究部長会、各郡市の真摯な取り組みの記録である本集録を、それぞれの学校経営にご活用いただけますようお願い申し上げます。御協力、誠にありがとうございました。

大分県中学校長会 研究部長 高橋修一
(大分市立竹中学校長)

目 次

第1部 郡市部長会 研究のまとめ

1. 中津市	-----	1
つながり大切に学校づくりの取組		
代表執筆者	中津市立中津中学校長	徳市尚利
2. 豊後高田市	-----	5
小規模校だからできる「生き抜く力」を育む学校経営		
代表執筆者	豊後高田市立田染中学校長	今熊啓司
3. 宇佐市	-----	11
地域に信頼され、地域に根ざした特色ある学校づくり		
～中高連携の取組を通して～		
代表執筆者	宇佐市立駅川中学校長	辛島寿彦
4. 別府市	-----	15
「地域とともにある学校づくり」の推進		
～コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の取組を通して～		
代表執筆者	別府市立北部中学校長	福田正気
5. 杵築市	-----	20
「生きる力」を育成する教育課程の編成・実施・評価		
～一点突破で現状を打破し波及効果を生み出す～		
代表執筆者	杵築市立宗近中学校長	永井秀樹
6. 速見郡	-----	24
学校の実態を踏まえた確かな学力の定着を図る取組		
代表執筆者	日出町立大神中学校長	清家健志
7. くにさき地区	-----	28
「故郷から学び、故郷を守り、故郷を育む生徒」を育成する教育課程の編成		
代表執筆者	国東市立国東中学校長	本多洋介
8. 大分市	-----	32
未来を切り拓く豊かな人間性と創造性を備え社会において自立的に生きる日本人を育てる中学校教育		
～今日的課題を通して～		
代表執筆者	大分市立植田西中学校長	大賀弘史
9. 臼杵市	-----	36
学校経営と計画的・継続的・組織的な進路指導		
～「基礎的・汎用的能力」育成を目指したキャリア教育の深化をめざして～		
代表執筆者	臼杵市立野津中学校長	中森吉男
10. 津久見市	-----	40
津久見市小中学校合同による校長の学校経営・教育課題に関する研修の取組		
代表執筆者	津久見市立保戸島中学校長	梶原隆浩
11. 由布市	-----	44
共に学び支え合いながら、社会を生き抜く、活力ある生徒の育成		
～租税教育を通して～		
代表執筆者	由布市立庄内中学校長	佐藤公治
12. 佐伯市	-----	49
「向上心」「自主性」「感謝」の心を育てる学校経営		
代表執筆者	佐伯市立本匠中学校長	盛崎雄一郎
13. 竹田市	-----	53
教育目標の達成に向けた校内研究の取組		
～主体的に学ぶ生徒をいかに育てるか。「郷土学」の取組を通して～		
代表執筆者	竹田市立直入中学校長	河村明彦

14. 豊後大野市	-----	58
連携型小・中一貫教育を通じた豊かな学び		
代表執筆者	豊後大野市立犬飼中学校長	有田秀慶
15. 日田市	-----	62
未来に向けた前津江の新しい教育を拓いていきたい		
～『パワーアップ前津江』の取組～		
代表執筆者	日田市立前津江中学校長	松本高信
16. 玖珠郡	-----	67
学校教育目標達成に向けた組織的な取組		
代表執筆者	九重町立このえ緑陽中学校長	濱田淳

第2部 研究部長会 研究のまとめ

1. 第1班	-----	71
テーマ：豊かな心や健やかな体の育成を図る教育の推進		
～家庭や地域、関係機関等との連携を図った心を育む食育の指導～		
班長	本多洋介（くにさき地区）	
班員	福田正気（別府市）	永井秀樹（杵築市）
	清家健志（速見郡）	
2. 第2班	-----	75
テーマ：豊かな学校生活を築き、自らの生き方を育む指導の充実		
～互いに高めあえる望ましい集団活動や部活動のあり方～		
班長	宗岡功（玖珠郡）	
班員	合屋貴宏（佐伯市）	平嶋聡（日田市）
	小出久美夫（竹田市）	
3. 第3班	-----	80
テーマ：時代の要請に応える学校経営の充実		
～学校評価の充実と保護者・生徒評価の活用～		
班長	有田秀慶（豊後大野市）	
班員	古口宣久（中津市）	河野史武（豊後高田市）
	辛島寿彦（宇佐市）	
4. 第4班	-----	83
テーマ：教師力の向上をめざした研修の充実		
～人事評価を生かした教師力の向上～		
班長	梶原隆浩（津久見市）	
班員	大賀弘史（大分市）	進来ふさの（臼杵市）
	佐藤公治（由布市）	

第3部 平成27年度研究大会のまとめ

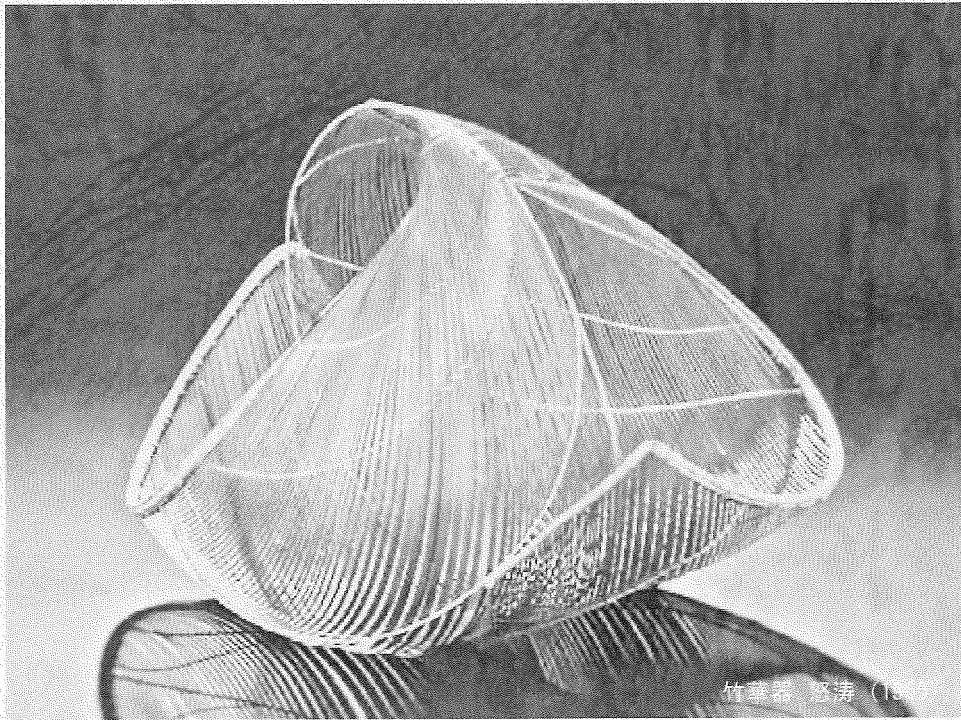
第61回大分県中学校長研究大会	豊後高田大会	-----	85
第66回全日本中学校長会研究協議会	福岡大会	-----	100

平成28年度 研究大会の案内

第62回大分県中学校長研究大会	別府大会	-----	102
第67回全九州中学校長研究大会	宮崎大会	-----	104
第67回全日本中学校長会研究協議会	宮城大会	-----	109

第43集

中学校長会研究集録



竹籠籠 翠涛 (1)
重要無形文化財保持者（人間国宝）生野祥雲斎

大分県中学校長会

第43集 大分県中学校長会研究集録発刊にあたって

昨年度は、急速な技術革新やグローバル化の激流の中で、シャープや東芝という名門企業ですら一気に転落する様子が報じられ、科学技術の急速な進歩に伴い国際化や高度情報化の進展がいっそう進行している事を感じさせられました。さらに今年度は、イギリスのEUからの離脱、アメリカ大統領トランプ氏の就任など、ますます予想が難しい社会の到来を強く実感する1年でした。

一方、県内では4月14日以降の一連の「熊本・大分地震」の発生、例年以上の台風接近による臨時休業など安全・防災教育や危機管理の在方について考えさせられる1年でもありました。

このような中、教育現場では平成29年度から周知・移行措置期間に入り、33年に本格実施を控えている学習指導要領「社会に開かれた教育課程」の改訂にむけ、平成28年度は、次を見据えて何をどう備えるかが校長としての課題であったように思います。

学習指導要領の改訂に関して、いわゆるアクティブラーニングやカリキュラムマネジメントなど今から取り組める課題もあり、学校教育の何を見直し、改善していくかということを検討するために、各種の審議会の検討段階で出される情報を収集・整理することが必要とされます。また、校長は喫緊の直面する課題解決とともに10年、20年後の未来を見通した視野も必要とされ、改めて確固たる教育理念とリーダーシップ、見識を高めることが求められています。

今年度の研究推進にあたっては、全日中研究協議会主題「社会を生き抜く力を身につけ、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育」に沿い、県下各地の中学校長の英知と創意を結集し、学校経営の一層の充実と自らの資質向上とともに今日的課題の解決に向けた研究活動の推進、学習指導要領改訂を控えた教育行政の動向等の情報収集・発信に努めて参りました。

昨年6月24日には、県下の校長が一堂に介する大分県中学校長研究大会が別府市立中部中学校長、新谷なをみ実行委員長を中心に別府市で開催されました。別府市教育委員、高橋護氏の講演「無心の心」を皮切りに、各分科会では学校実態から洗い出された課題に対する具体的な提案、熱心な討議がなされ、各校での実践の深化、発展に結びつく大会となりました。改めて県中学校長会の運営方針を体現する重要な大会であったと感じております。別府市校長会をはじめご協力いただきました日出町、杵築市、くにさき地区の校長先生方には多大なご尽力を賜り、周到に準備された見事な大会運営で実りの大きい大会となりましたことに深く感謝いたします。

来年度も県中学校長会が一丸となって「豊かな教育を豊の国大分から」を合言葉に、難題山積の教育課題に向き合い、課題解決に向け強いリーダーシップを発揮する中学校教育の先陣として、これからも大切にして研究・実践に努めなければならないと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

最後になりましたが、今年度の研究推進にあたり、関係教育委員会の皆様をはじめ県下各中学校長、研究部長の校長先生方の誠意あるご協力に感謝いたします。また、県大会や研究部長会、各郡市の真摯な取り組みの記録である本集録を、それぞれの学校経営にご活用いただけますようお願い申し上げます。ご協力誠にありがとうございました。

平成29年1月17日

大分県中学校長会 研究部長 高橋修一
(大分市立佐賀関中学校長)

目 次

第1部 郡市校長会 研究のまとめ

1. 中津市	1
重点目標達成に向けた一体感のある学校体制づくり（授業改善を通して）	
代表執筆者 中津市立東中津中学校長 橋本 和也	
2. 豊後高田市	5
教職員の意欲を高め、児童生徒をのばす学校づくり	
代表執筆者 豊後高田市立小中一貫校戴星学園長 河野 公則	
3. 宇佐市	9
中高連携を活用した特色ある学校づくり	
代表執筆者 宇佐市立院内中学校長 谷口 光宣	
4. 別府市	14
心身ともに健康で 自ら考え学び 思いやりのある生徒の育成	
代表執筆者 別府市立朝日中学校長 溝部 敏郎	
5. 杵築市	18
生徒とともに目指す目標達成の取り組み	
～学びに向かう力の育成を目指して～	
代表執筆者 杵築市立宗近中学校長 高島 弘道	
6. 速見郡	22
地域とともにある学校づくりの推進	
代表執筆者 日出町立大神中学校長 清家 健志	
7. くにさき地区	26
「地域と共にある学校づくり」の推進	
～目標協働達成、コミュニティ・スクールの取り組み～	
代表執筆者 国東市立安岐中学校長 豊田 崇	
8. 大分市	31
社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育	
～今日的課題の解決をめざして～	
代表執筆者 大分市立滝尾中学校長 佐藤 雅彦	
9. 臼杵市	36
確かな学力の定着・向上をめざした組織的な学校運営の充実	
～アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を通して～	
代表執筆者 臼杵市立野津中学校長 中津留 則之	
10. 津久見市	40
津久見市小中学校長合同による校長の学校経営・教育課題に関する研修の取組	
代表執筆者 津久見市立第二中学校長 樋口 千恵美	
11. 由布市	44
ユニバーサルデザインを基にした授業改善	
代表執筆者 由布市立庄内中学校長 足達 邦彦	
12. 佐伯市	49
主体的に判断し、行動できる生徒の育成をめざした学校経営	
代表執筆者 佐伯市立東雲中学校長 宮崎 哲次	
13. 竹田市	53
自ら学ぶ意欲をもち、主体的に活動する生徒の育成	
～アクティブラーニング＝協調学習で行う学校改革～	
代表執筆者 竹田市立竹田中学校長 志賀 哲哉	

14. 豊後大野市	57
ユニバーサルデザイン化推進による合理的配慮	
代表執筆者 豊後大野市立清川中学校長 菅澤 志郎	
15. 日田市	61
自己肯定感や達成感のある豊かな学校生活を築く指導の充実	
～施設一体型小中一貫校における中学校の取り組み～	
代表執筆者 日田市立大山中学校長 江嶋 久典	
16. 玖珠郡	65
古後地区の強みを活かした小・中・地域連携の取り組み	
代表執筆者 玖珠町立古後中学校長 後藤 久寿	

第2部 研究部長会 研究のまとめ

1. 第1班	69
テーマ：生涯に渡り学習する基盤を培う「確かな学力」の定着と向上	
班長 溝部 敏郎（別府市）	
班員 高島 弘道（杵築市） 豊田 崇（くにさき地区）	
清家 健志（速見郡）	
2. 第2班	72
テーマ：豊かな学校生活を築き、自らの生き方を育む指導の充実	
～互いに高め合える望ましい集団活動のあり方～	
班長 添田 俊雄（竹田市）	
班員 高野 慎吾（佐伯市） 江嶋 久典（日田市）	
川野 俊太郎（玖珠郡）	
3. 第3班	76
テーマ：質の高い教育を実現するための人材育成	
班長 河野 公則（豊後高田市）	
班員 古口 宣久（中津市） 谷口 光宣（宇佐市）	
菅澤 志郎（豊後大野市）	
4. 第4班	78
テーマ：質の高い教育実現するための人材育成の推進	
～学校経営に携われる教職員の育成～	
班長 足達 邦彦（由布市）	
班員 佐藤 雅彦（大分市） 樋口 千恵美（津久見市）	
進来 ふさの（臼杵市）	

第3部 平成28年度研究大会のまとめ

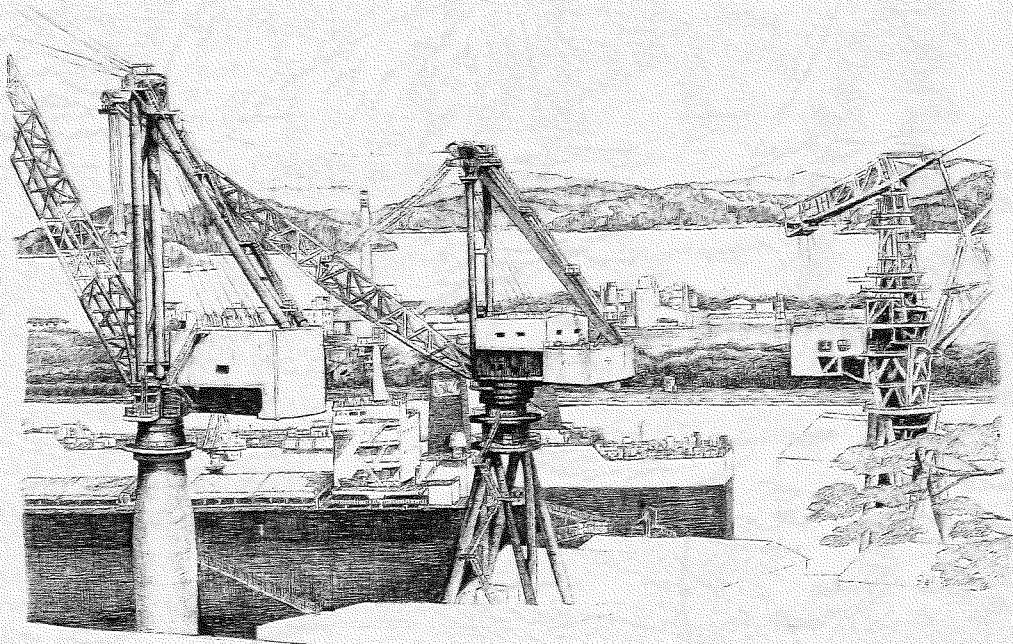
第62回大分県中学校長研究大会	別府大会	81
第67回全九州中学校長会研究協議会	宮崎大会	95
第67回全日本中学校長会研究協議会	宮城大会	96

平成29年度 研究大会の案内

第63回大分県中学校長研究大会	佐伯大会	97
第68回全九州中学校長会研究協議会	鹿児島大会	99
中学校教育70年記念 第68回全日本中学校長会	東京大会	101

第44集

中学校長会研究集録



佐伯 濃霞山より 絵 前門清一郎

大分県中学校長会

第44集 大分県中学校長会研究集録発刊にあたって

昨年県内では、7月の九州北部豪雨や9月の台風第18号による洪水被害などの自然災害が多発し、各地に甚大な被害をもたらしました。かつてない集中豪雨により学校においても教室や職員室、調理場等が浸水し、臨時休業を余儀なくされるなどの事態に見舞われました。こうした状況に改めて学校安全体制構築の難しさと大切さを考えさせられた1年でした。

国においては、昨年3月に新学習指導要領が告示されました。特に今回の改訂では、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることが出来るよう「主体的・対話的で深い学び」の実現や、学校教育目標の実現のために教科横断的な視点からの教育活動の改善や学年を超えた組織運営の改善など「カリキュラム・マネジメント」の重要性が指摘されています。

一方、学校現場での長時間勤務の現状を踏まえ、「学校における働き方改革特別部会」の設置・審議がなされるなど、「働き方」の在り方が大きくクローズアップされています。保護者や地域社会、関係団体等への理解を得ながら、教育委員会と学校が一体となって長時間勤務の是正や本来の業務に集中できる環境を整備していくことが強く求められています。

そうした中、今年度の研究推進にあたっては、全日中研究協議会主題「社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育」に沿い、各郡市研究部長による年間5回のテーマ別班別研修、九州大会のレポート審議、移行措置を踏まえた新学習指導要領の趣旨・内容や教育行政の動向等の情報収集・発信に努めてまいりました。

昨年6月30日には、県下の校長が一堂に介する第63回大分県中学校長研究大会佐伯大会が、佐伯市立佐伯南中学校長染谷博史実行委員長を中心として、大分県マリンカルチャーセンターを会場に開催されました。全体会での元佐伯市教育委員長、宮明邦夫氏の講演「楽しく考える学校教育」を皮切りに、第1から第6の各分科会において、発表者の校長先生から具体的な実践報告と提案を受け、全体協議やグループ討議での活発な意見交換や情報交換がなされ、今後の各校での実践の深化・発展に大いに寄与する大会となりました。この大会が県中学校長会の運営方針を体現する重要な場であったと改めて感じております。佐伯市校長会を始め、ご協力いただきました津久見市町、臼杵市の校長先生方には多大なご尽力を賜り、周到に準備された見事な大会運営で実りの大きい1日となりましたことに深く感謝いたします。

来年度も県中学校長会が一丸となって、教育に携わる者として怯まず、未来志向の教育改革の推進と直面する諸課題の解決に向け、強いリーダーシップを発揮する中学校教育の先陣として、これからも研究・実践に努めなければならないと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

結びになりましたが、今年度の研究推進にあたり、教育委員会関係者の皆様をはじめ県下各中学校長、研究部長の校長先生方の誠意あるご協力に感謝いたします。また、県大会や研究部長会、各郡市の真摯な取組の記録である本集録を、それぞれの学校経営にご活用いただけますようお願い申し上げます。ご協力誠にありがとうございました。

平成30年1月17日

大分県中学校長会 研究部長 伊 藤 進
(大分市立賀来小中学校長)

目 次

第1部 郡市校長会 研究のまとめ

1. 中津市	-----	1
学校教育目標達成に向けた山中スタイルの確立		
～校内研究を通して～		
代表執筆者 中津市立山国中学校	校長 近藤俊雄	5
2. 豊後高田市	-----	5
将来の地域人材育成に向けた地域行事等の活用について		
代表執筆者 豊後高田市立田染中学校	校長 財前昭仁	9
3. 宇佐市	-----	9
確かな学力・豊かな心の育成に向けた組織的取り組み		
代表執筆者 宇佐市立宇佐中学校	校長 須藤喜夫	14
4. 別府市	-----	14
地域とともにある学校づくり		
～学校運営協議会が主体となった取組を通して～		
代表執筆者 別府市立鶴見台中学校	校長 米田伸一	18
5. 杵築市	-----	18
保護者・地域との連携・協働による教育活動の取組		
代表執筆者 杵築市立山香中学校	校長 佐々木潤一郎	22
6. 速見郡	-----	22
生きる力を育む特色ある教育活動の展開		
代表執筆者 日出町立大神中学校	校長 清家健志	26
7. くにさき地区	-----	26
家庭・地域と連携した学校づくりの推進		
代表執筆者 姫島村立姫島中学校	校長 後藤哲郎	32
8. 大分市	-----	32
社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育		
～今日的課題の解決をめざして～		
代表執筆者 大分市立碩田学園	校長 佐藤修	37
9. 臼杵市	-----	37
北ブロックの児童と生徒をつなぐ組織的な教育活動		
～臼杵市小中一体教育の取組を通して～		
代表執筆者 臼杵市立北中学校	校長 亀井一寿	41
10. 津久見市	-----	41
津久見市小中学校長合同による校長の学校経営・新学習指導要領に関する研修の取組		
代表執筆者 津久見市立保戸島中学校	校長 梶原俊幸	45
11. 由布市	-----	45
由布市連携型中高一貫教育の取組		
～確かな学力と豊かな人間性を身につけ、自己実現に取り組む生徒の育成～		
代表執筆者 由布市立庄内中学校	校長 衛藤謙二	49
12. 佐伯市	-----	49
大分県教育委員会の指定研究の取組を核とした学校経営		
代表執筆者 佐伯市立佐伯城南中学校	校長 宮崎哲次	54
13. 竹田市	-----	54
みんなで進める学校づくり		
代表執筆者 竹田市立緑ヶ丘中学校	校長 河野義文	

14. 豊後大野市	-----	58
地域とともにある学校づくりの推進		
代表執筆者 豊後大野市立大野中学校	校長 内海慶三	
15. 日田市	-----	62
人間性豊かで知性にあふれ、未知の課題に挑戦し続ける生徒の育成		
～へき地・小規模校の特性を生かした学校経営の工夫～		
代表執筆者 日田市立五馬中学校	校長 和田喜久美	
16. 玖珠郡	-----	66
「このえのまちづくりに貢献できるコミュニティ・スクール」の具現化をめざして		
代表執筆者 九重町立このえ緑陽中学校	校長 森山智紀	

第2部 研究部長会 研究のまとめ

1. 第1班	-----	70
テーマ：地域との連携・協働による「チーム学校の創生」		
～チームとしての学校と地域等の連携体制構築の在り方～		
班長 清家健志 (速見郡)		
班員 米田伸一 (別府市) 佐々木潤一郎 (杵築市)		
後藤哲郎 (くにさき地区)		
2. 第2班	-----	73
テーマ：多様化・複雑化した教育課題に対応できる教員の育成		
班長 宮崎哲次 (佐伯市)		
班員 伊東祐一 (竹田市) 和田喜久美 (日田市)		
森山智紀 (玖珠郡)		
3. 第3班	-----	76
テーマ：「社会に開かれた教育課程」の編成・実施		
班長 糸永起也 (中津市)		
班員 財前昭仁 (豊後高田市) 須藤喜夫 (宇佐市)		
内海慶三 (豊後大野市)		
4. 第4班	-----	79
テーマ：豊かな心や健やかな身体と体力の向上を図る教育の充実		
～体育・スポーツの充実と健康・安全教育の推進～		
班長 佐藤修 (大分市)		
班員 亀井一寿 (臼杵市) 梶原俊幸 (津久見市)		
衛藤謙二 (由布市)		

第3部 平成29年度研究大会のまとめ

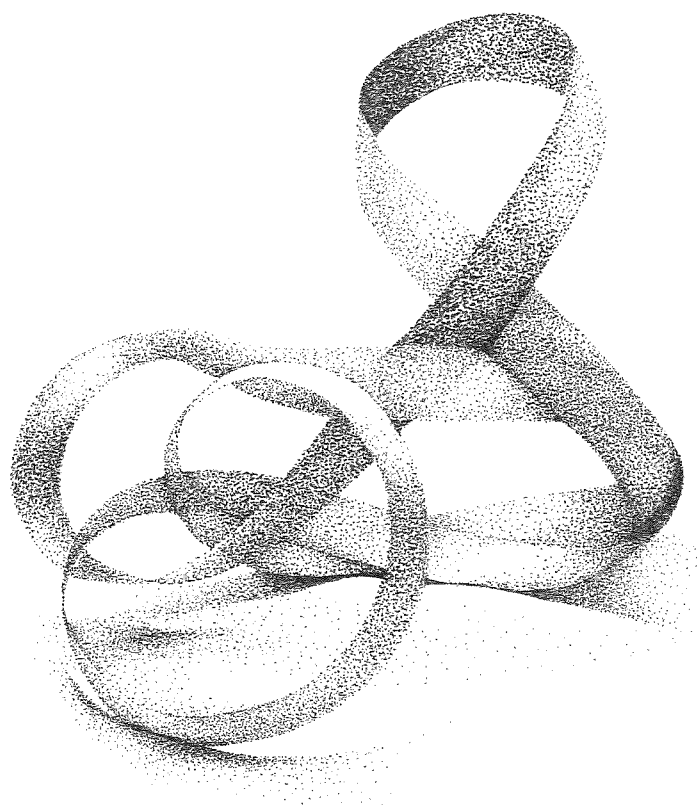
第63回大分県中学校長研究大会	佐伯大会	-----	81
第68回全九州中学校長会研究協議会	鹿児島大会	-----	92
第68回全日本中学校長会研究協議会 (中学校教育70年記念)	東京大会	-----	93

第4部 平成30年度 研究大会の案内

第64回大分県中学校長研究大会	竹田大会	-----	95
第69回全九州中学校長研究大会	熊本大会	-----	97
第69回全日本中学校長会研究協議会	鳥取大会	-----	99

第45集

中学校長会研究集録



【よじれても、なお環】絵 峯田宣和

大分県中学校長会

第45集 大分県中学校長会研究集録発刊にあたって

平成30年の世相を表す1字が「災」であったことに象徴されるように、昨年は、西日本を中心に甚大な被害をもたらした平成30年7月豪雨、近畿・四国地方などに大きな爪痕を残した台風21号、北海道胆振東部地震など各地で発生した地震など、全国的に自然災害が頻発した年でした。県内でも一昨年に九州北部豪雨や台風18号による洪水被害があったばかりですが、4月には中津市耶馬溪町の大規模山崩れが発生するなど、私たちの身の回りでは、いつ災害が発生してもおかしくない状況が続いています。学校を預かる校長として、日常の備えや危機管理、防災教育の重要性などを改めて認識させられた1年でした。

さて、2020年度の次期学習指導要領全面実施が目前となってきました。これからの時代に求められる資質・能力を明確にしながら、主体的・対話的で深い学びの視点からの学習過程の改善を通して、子どもたちの理解の質を深めていけるよう、引き続き必要な取組や準備を着実にやっていく必要があります。

また、これまでの教員の勤務の実態を踏まえた「働き方改革」が叫ばれる中、限られた時間の中で教師の専門性を生かしつつ、授業や授業準備、研修の時間や子どもと向き合う時間を十分確保していけるよう、学校における働き方改革を一層推進していくことも求められています。

そうした中、研究部長会では今年度の研究推進にあたって、全日中研究協議会主題「社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育」に沿い、各郡市研究部長による年間5回のテーマ別班別研修、全国大会・九州大会のレポート審議、移行措置を踏まえた新学習指導要領の趣旨・内容や教育行政の動向等の情報収集・発信に努めてまいりました。

昨年6月22日には、県下の校長が一堂に介する第64回大分県中学校長研究大会竹田大会が、竹田市立竹田中学校長の添田俊雄実行委員長を中心として、「くじゅうサンホール及び久住支所」を会場に開催されました。2000年シドニーオリンピック競泳日本代表であり竹田市地域おこし協力隊の一員でもあります小笠原順子氏による「信じる力～人生で得た大切なもの」の講演を皮切りに、第1から第6の各分科会において、発表者の校長先生から具体的な実践報告と提案を受け、全体協議やグループ討議での活発な意見交換や情報交換がなされました。そこで交わされた論議は今後の各校での実践の深化・発展に大いに寄与するものとなり、県大会が県中学校長会の運営方針を体現する重要な場であると改めて感じたところです。竹田大会の運営にあたりましては、竹田市校長会を始め、ご協力いただきました豊後大野市の校長先生方には多大なご尽力を賜りましたことに深く感謝いたします。

来年度も、校長としての経営感覚を磨き、未来志向の教育改革推進と直面する諸課題の解決に向け、強いリーダーシップを発揮する中学校教育の先陣として、県中学校長会が一丸となって研究・実践に努めなければならないと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

結びになりましたが、今年度の研究推進にあたり、教育委員会関係者の皆様方をはじめ各郡市中学校長、研究部長の校長先生方の誠意あるご協力に感謝いたします。また、県大会や研究部長会、各郡市の真摯な取組の記録である本集録を、それぞれの学校経営にご活用いただけますようお願い申し上げます。ご協力誠にありがとうございました。

大分県中学校長会 研究部長 伊藤 進
(大分市立城南中学校長)

目 次

第1部 郡市校長会 研究のまとめ

1	中津市	1
	「社会に開かれた教育課程」の編成・実施に向けて 代表執筆者 中津市立本耶馬溪中学校 校長 甲 斐 洋 治	
2	豊後高田市	5
	連携・協働の充実による人材育成の推進 代表執筆者 豊後高田市立香々地中学校 校長 清 輔 康 一	
3	宇佐市	9
	確かな学力の育成をめざして 代表執筆者 宇佐市立駅川中学校 校長 吉 田 進	
4	別府市	13
	「地域とともにある学校づくり」の推進 ～コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の取組を通して～ 代表執筆者 別府市立北部中学校 校長 林 淳一郎	
5	杵築市	17
	保護者・地域との連携・協働による教育活動の取組 代表執筆者 杵築市立山香中学校 校長 佐々木 潤一郎	
6	速見郡	21
	一人一人のキャリア形成と自己実現を目指して ～キャリア教育における職場体験学習の現状と課題～ 代表執筆者 日出町立大神中学校 校長 林 東洋一	
7	くにさき地区	25
	自己理解を促し、将来にわたって人としての生き方を深める指導の充実 ～他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導力を育成する生徒指導の充実～ 代表執筆者 国東市立国東中学校 校長 渡 邊 昌 教	
8	大分市	30
	社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育 代表執筆者 大分市立植田中学校 校長 田 辺 徹	
9	臼杵市	34
	臼杵市教育研究協議会の組織的な研究活動 ～研究助成校 北中学校の取り組み～ 代表執筆者 臼杵市立北中学校 校長 亀 井 一 寿	
10	津久見市	39
	生涯にわたる健康づくりの基盤形成を目指して ～スクールヘルスアップ事業による食習慣・生活習慣の改善、運動習慣の定着を通して～ 代表執筆者 津久見市立第一中学校 校長 中 野 敏 伸	
11	由布市	44
	学習課題に対して自分の考えをもち、対話的に解決していく生徒の育成 ～由布市教育振興会指定研究発表～ 代表執筆者 由布市立湯布院中学校 校長 衛 藤 謙 二	
12	佐伯市	48
	地域、生徒、保護者、職員に愛され、信頼される学校づくりの推進 代表執筆者 佐伯市立東雲中学校 校長 渡 邊 和 彦	
13	竹田市	52
	豊かな自己表現力・コミュニケーション力を育む学校経営 代表執筆者 竹田市立直入中学校 校長 伊 東 祐 一	

14	豊後大野市	56
	地域・学校の「強み・資源」を活かした学校経営について 代表執筆者 豊後大野市立千歳中学校 校長 板 井 勝 博	
15	日田市	60
	生きて働く「確かな学力」の定着と向上 ～基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と活用～ 代表執筆者 日田市立三隈中学校 校長 江 嶋 久 典	
16	玖珠郡	65
	連携力のアップをめざした取組 代表執筆者 玖珠町立森中学校 校長 平 原 一 幸	

第2部 研究部長会 研究のまとめ

1	第1班	69
	テーマ：豊かな学校生活を築き、未来を切り拓くための指導の充実 ～望ましい集団生活や活動、関係機関と連携した生徒指導～ 班長 佐々木 潤一郎（杵築市） 班員 神 淳 祐（くにさき地区） 林 淳一郎（別府市） 林 東洋一（速見郡）	
2	第2班	72
	テーマ：未来を切り拓くためのキャリア教育の視点に立った進路指導の充実 班長 宮 崎 哲 次（佐伯市） 班員 中 村 周 市（玖珠郡） 江 嶋 久 典（日田市） 河 野 義 文（竹田市）	
3	第3班	75
	テーマ：多様化・複雑化した教育課程に対応できる教員の在り方 ～専門性と指導力を高め、信頼される研修の在り方～ 班長 橋 本 和 也（中津市） 班員 清 輔 康 一（豊後高田市） 板 井 勝 博（豊後大野市） 吉 田 進（宇佐市）	
4	第4班	78
	テーマ：道徳性や健やかな体と体力を育む教育の充実 ～質の高い多様な道徳授業と道徳教育の組織的推進～ 班長 田 辺 徹（大分市） 班員 亀 井 一 寿（臼杵市） 中 野 敏 伸（津久見市） 衛 藤 謙 二（由布市）	

第3部 平成30年度研究大会のまとめ

第64回大分県中学校長研究大会	竹田大会	81
第69回全九州中学校長研究大会	熊本大会	85
第69回全日本中学校長会研究協議会	鳥取(米子)大会	87

第4部 平成31年度研究大会の案内

第65回大分県中学校長研究大会	日田大会	91
第70回全九州中学校長研究大会	佐賀大会	92
第70回全日本中学校長会研究協議会	群馬大会	94